

やんばる世界遺産だより

第 10 号

令和 4 年 3 月発行

沖縄島北部部会

事務局

祝！ やんばる地域が世界遺産になりました

2021 年 7 月 26 日（月）、第 44 回世界遺産委員会拡大会合において、やんばる地域を含む「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録が決定しました。

この世界自然遺産には、ヤンバルクイナやノグチゲラ（やんばる地域に生息）、アマミノクロウサギ（奄美大島・徳之島に生息）、イリオモテヤマネコ（西表島に生息）をはじめ、貴重な生きものがたくさん生息・生育しています。このような豊かな生物多様性の保全において特に重要な場所を含むため、世界自然遺産になることができました。



左：世界自然遺産登録視聴会の様子



右：世界自然遺産登録記念式典の様子

やんばる地域における世界遺産の範囲

やんばる地域において世界自然遺産になった範囲は、貴重な生きものが生息・生育する脊梁山地の“やんばるの森”です（右下図参照）。この範囲は、絶滅危惧種や固有種が多く生息・生育する常緑広葉樹多雨林に覆われています。



ヤンバルクイナ



オキナワセッコク



リュウキュウヤマガメ



ケナガネズミ



ノグチゲラ



ホルストガエル

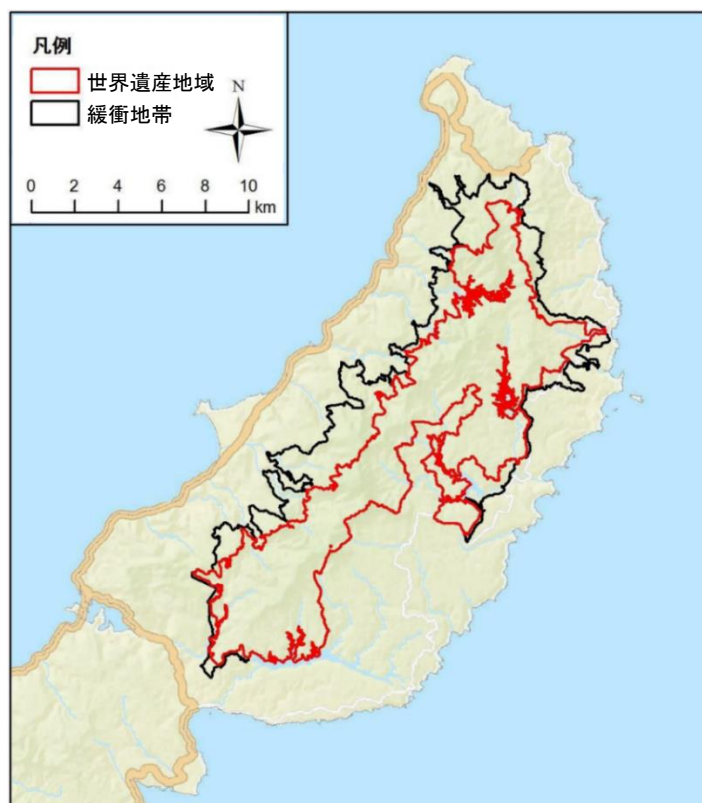


図 世界遺産地域及び緩衝地帯

出典）世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（仮訳）（P.vii の図を一部改変）

世界自然遺産登録に関する住民アンケートの調査結果報告

令和3年12月～令和4年2月にかけて、やんばる地域（沖縄島北部）に住んでいる方々を対象に、世界自然遺産に関する意識調査を実施しました。

やんばる3村の各字に協力頂き質問票を配布し、配布件数 4,144 件（全戸配布）のうち、663 件（回収率：16.0%）のご回答をいただきました。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方の年齢は、50 歳以上の回答者が 8 割以上を占めていました。また、職業は、農業が 20.8%、無職が 20.4%を占めました。（詳細は右表）

＜アンケートにお答えいただいた方々（属性情報）＞

性別	回答数	比率(%)
男性	304	45.9
女性	315	47.5
無回答等	44	6.6

年齢	回答数	比率(%)
10代	1	0.2
20代	11	1.7
30代	39	5.9
40代	65	9.8
50代	79	11.9
60代	230	34.7
70代以上	229	34.5
無回答等	9	1.4

※端数処理の関係上、合計が 100%にならない場合があります。

職業	回答数	比率(%)
農業	138	20.8
無職	135	20.4
主婦	90	13.6
建設業・製造業	29	4.4
公務員	28	4.2
飲食業	19	2.9
教育機関	17	2.6
観光業（ガイド以外）	13	2.0
宿泊業	13	2.0
小売・卸売業	12	1.8
観光ガイド	10	1.5
林業	4	0.6
交通・運輸業	4	0.6
その他	109	16.4
無回答等	42	6.3

世界自然遺産登録に関する認知度・態度

既に多くの住民の方々が世界自然遺産登録についてご存知ということが分かりました。また、世界遺産登録について、約 64%の方が好意的に捉えているという結果となりました。一方、「どちらとも言えない」と答えた方が約 26%を占めていました。

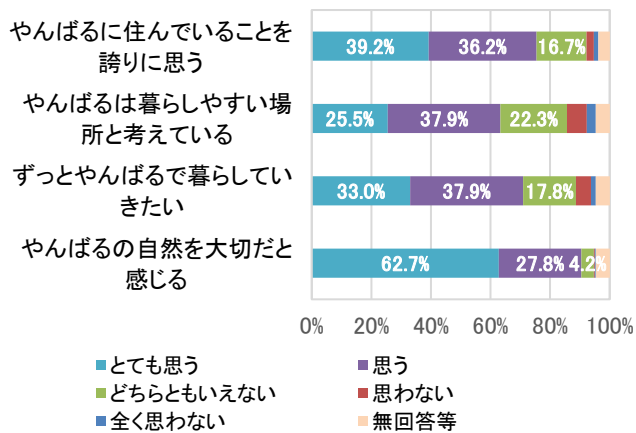
項目	知っていた	知らなかった	無回答等
やんばるが世界自然遺産に登録された	96.8%	0.3%	2.9%
奄美大島、徳之島、西表島と一緒に世界遺産に登録された	94.1%	3.5%	2.4%
世界自然遺産としての価値	94.1%	3.8%	2.1%

やんばるにおける暮らしや自然についての意識、重大課題についての認識

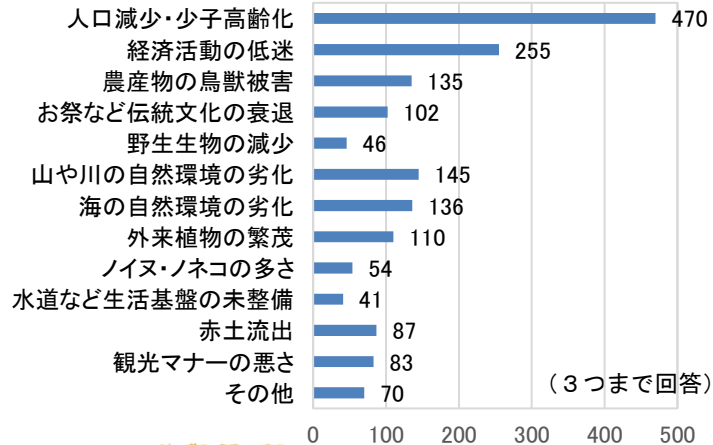
やんばるでの暮らしについて、やんばるに住んでいることを誇りに思っている方が約 75%となりました。特に、約 39%の方々がとても誇りに思っているという結果となりました。また、やんばるの自然を大切であると感じている方は、9割以上にのぼりました。

やんばるの抱える課題として、人口減少・少子高齢化、経済活動の低迷を重大課題とする意見が多く、山や海の自然環境の劣化が続きました。「その他」の回答には、基地問題を挙げる意見も多く見られました。

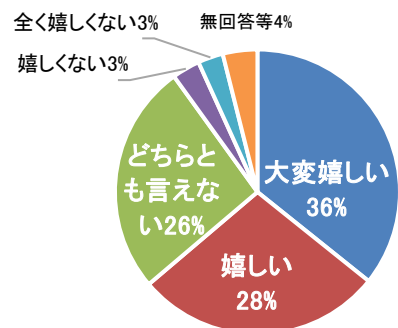
やんばるにおける暮らしや自然についての意識



やんばるの抱える課題のうち、重大な課題は何か



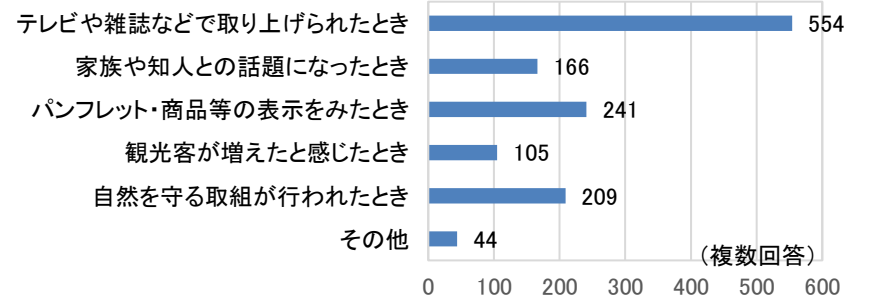
やんばる地域が世界遺産になったことについてどう思うか



世界自然遺産に登録されたと実感するとき

やんばる地域が世界自然遺産に登録されたと実感するときとして、テレビなどで取り上げられたときや自然を守る取組が行われたときが挙げられました。

一方、「その他」の中には、世界自然遺産に登録された実感がないという意見もありました。

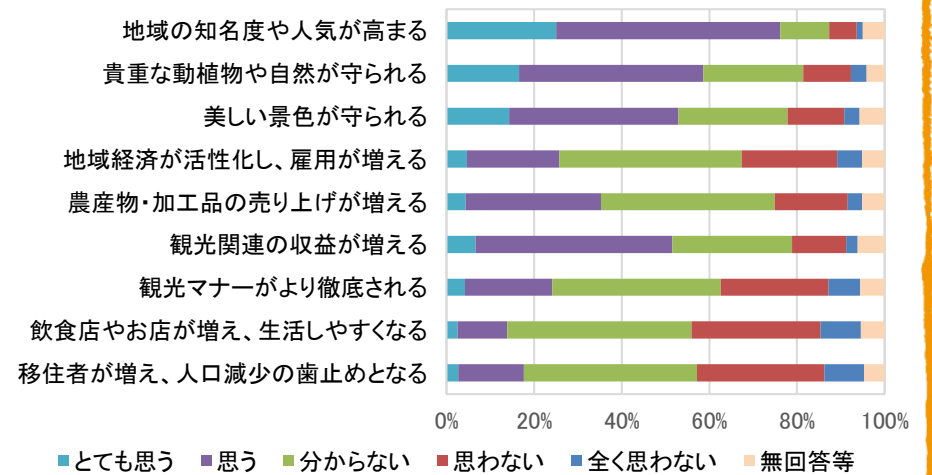


やんばる地域が世界自然遺産になったことで期待できること

世界自然遺産になったことで期待できることと、最も多くの人（約 76%）が回答したのは、地域の知名度や人気が高まることでした。続いて、貴重な動植物や自然が守られること、美しい景色が守られることが多く、自然環境保全への期待もあると考えられます。

一方、地域経済活性化・雇用促進や、移住者の増加に繋がると思う方は、それぞれ 25.8%、17.6%と、世界遺産登録が地域の重大課題の改善につながるの意見は少なかったです。

やんばるが世界自然遺産になったことで期待できること

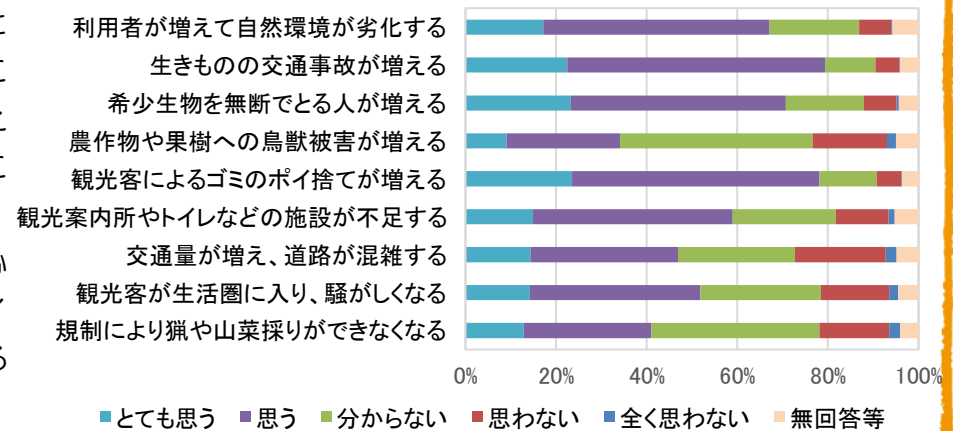


やんばる地域が世界自然遺産になったために懸念または心配すること

やんばる地域が世界自然遺産になったため、生きものの交通事故が増えることや、希少生物を無断でとる人が増えること、観光客によるゴミのポイ捨てが増えることを懸念や心配する方が多くいることが分かりました。

また、観光客が生活圏に入ることを心配する意見も 51.9%あり、ゴミのポイ捨ても含め、観光客のマナーを懸念する方が比較的多いことが分かりました。

やんばるが世界自然遺産になったために懸念または心配すること



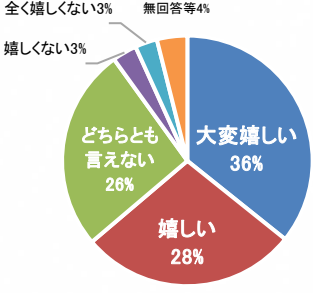
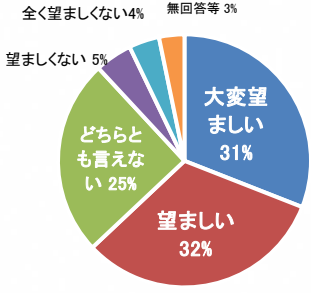
まとめ：やんばる地域の世界自然遺産に関する意識調査の結果、ほとんどの方は世界自然遺産登録について既に認識しており、約 64%の方が世界自然遺産登録を好意的に捉えていることが分かりました。

大多数の地域の方がやんばるの自然を大切であると感じており、多くの方がやんばる地域に住んでいることを誇りに思っていることも分かりました。また、特に重大な課題は、人口減少・少子高齢化と経済活動の低迷ですが、世界自然遺産が地域の課題解決につながると期待している人は少ない状況です。

今後、世界自然遺産に関する取組を自然環境の保全や地域の活性化につなげ、地域の課題を解決する糸口にしていくことが重要といえます。

前回住民アンケート結果との比較概要

今回の世界遺産登録に関する住民アンケートは、平成 29 年度に実施した前回アンケートに続き、2 回目の実施となりました。そのため、今回と前回のアンケート結果を比較しました。

観点	比較結果	今回のアンケート結果	平成 29 年度のアンケート結果
回収率 (件数)	回収率が上昇	16.0 % (663 件)	9.9 % (462 件)
回答者の 属性	回答者の属性に大きな変化なし	50 代以上が 80% 程度 職業：農業、無職、主婦の順に多い	50 代以上が 80% 程度 職業：無職、農業、主婦の順に多い
世界自然遺産登録に関する態度	世界遺産に関して約 64% が好意的 (大きな変化なし)		
地域課題 (トップ 5)	1 位・2 位は変わらず。「 ノイヌ・ノネコの多さ 」の順位が下がった	1. 人口減少・少子高齢化 2. 経済活動の低迷 3. 山や川の自然環境の劣化 4. 海の自然環境の劣化 5. 農産物の鳥獣被害	1. 人口減少・少子高齢化 2. 経済活動の低迷 3. ノイヌ・ノネコの多さ 4. 農産物の鳥獣被害 5. 山や川の自然環境の劣化
世界自然遺産になったことで期待できること	「美しい景色が守られる」や「地域経済が活性化し、雇用が増える」などへ期待する割合が減少している	■自然環境保全への期待 ・貴重な自然や動植物が守られる ・美しい自然が守られる →各々 50%以上 の方が期待 ■観光や地域経済への期待 ・観光関連の収益が増える →約 52% の方が期待 ・地域経済の活性化と雇用増 →約 26% の方が期待	■自然環境保全への期待 ・貴重な自然や動植物が守られる ・美しい自然が守られる →各々 60%以上 の方が期待 ■観光や地域経済への期待 ・観光関連の収益が増える →約 53% の方が期待 ・地域経済の活性化と雇用増 →約 33% の方が期待
世界自然遺産になったために懸念または心配すること	「生きものの交通事故が増える」「希少生物を無断でとる人が増える」などを懸念する割合が上昇している	■自然環境に関する懸念・心配 ・生きものの交通事故が増える →約 80% の方が懸念 ・希少生物を無断でとる人が増える →約 71% の方が懸念 ■観光客に関する懸念・心配 ・ゴミのポイ捨てが増える →約 78% の方が懸念・心配	■自然環境に関する懸念・心配 ・生きものの交通事故が増える →約 71% の方が懸念 ・希少生物を無断でとる人が増える →約 64% の方が懸念 ■観光客に関する懸念・心配 ・ゴミのポイ捨てが増える →約 79% の方が懸念・心配

やんばる地域の世界遺産に関する取組を進めています

2021 年 7 月の世界遺産登録の際、世界遺産委員会から「観光管理」「ロードキル対策」「河川再生」「森林管理」についてさらに取組を進めるよう“宿題”（要請）が出されており、行政機関や地域関係団体が取組を進めています。特に、観光管理については、国頭村観光協会・大宜味村観光協会・東村観光推進協議会が連携を強化するなど、やんばる 3 村の官民が一丸となって取組を進めています。



お問い合わせ先

沖縄県世界自然遺産推進室 TEL:098-866-2243

大宜味村企画観光課 TEL:0980-44-3007

国頭村世界自然遺産推進室 TEL:0980-41-2101

東村企画観光課 TEL:0980-43-2265